

# 第3回 運営推進会議 議事録

平成 29 年 9 月 14 日

事業所名	デイサービスセンター「すみよし」			
開催日時	平成 29 年 9 月 13 日 (水) 14 時 00 分 ~ 15 時 30 分			
開催場所	デイサービスセンター「すみよし」併設施設サービス付き高齢者向け住宅「グットハウスすみよし」食堂			
参加者	利用者	1 名	知見を有する者	1 名
	利用者家族	1 名	地域包括支援センター	1 名
	地域住民の代表	1 名	事業所職員	3 名
議題	1 運営状況 2 事故／ヒヤリ・ハット報告 3 前回の課題 4 活動報告 5 運営委員からの質問 6 運営委員からの評価 7 今後の課題			
会 議 録				

## 1 運営状況

半日型、午前・午後二部制のデイ。機能訓練を重視。希望者には入浴、食事(午前利用のみ)を提供。  
 一日平均利用人数 午前 11.6名 午後 11.4名。  
 平均介護度 1.9。男女比は、男性4割、女性6割。  
 ⇒比較的元気な方が多い。男性利用者にも好評を得ていて、徐々に利用者も増えている。

## 2 事故／ヒヤリ・ハット報告

事故 2件

- 《内容》 来所時38℃台の発熱があり水分補給・クーリングにて対応。横になる際、胸の痛みを訴えられ、意識消失。その後30秒ほどで意識回復。胸の痛みも消失。  
 《対応》 ご家族に連絡し、状況説明。ご家族来所され、ご利用者様の様子を見て救急搬送。そのまま入院となる。ご家族との連絡と並行し、ケアマネに連絡し、状況報告を行う。

- 《内容》 独居男性。ご自宅へお迎え時、台所にて転倒されているのを発見。意識はあるが、右わき腹の痛みの訴え、ご自身で起き上がれない状態。  
 《対応》 意識・状態の確認後、ケアマネに連絡し状況報告。救急要請を行い、病院へ搬送する。キーパーソンへの状況説明等も行なった。

ヒヤリ・ハット 1件

- 男性・76歳・介護度1

《内容》 椅子からの立ち上がり後、後ろに身体が傾き転倒しそうになる。

事故やヒヤリ・ハットが発生した際には、関係機関に報告を行うと共に、発生した日の内に職員間で原因・対策等の話し合いを行い、再発防止に努めている。

## 3 前回の課題

- 利用者目標を作ってもらい、それを目に見える形に。  
 ⇒機能訓練を取り組んだ日にスタンプを押す取り組みは定着してきた。ご自宅での取り組みは、まだ進んでいないが、ご家族やホームヘルパー等の協力を得ながら進めて行きたい。
- 非常災害対策について。  
 ⇒第一避難場所および、その後の避難所等の避難情報を利用者、家族に随時案内している。

## 4 活動報告

- ご利用者様大感謝祭マグロ寿司祭り開催(3デイサービス合同)。
- グットケアの広報誌を新聞折り込みチラシにて、「すみよし」近隣の下小河原、中小河原、住吉をはじめ、市内に3万部配布。
- フードバンク山梨の活動に参加。利用者みんなで爪楊枝入れを作成。
- 市内の高校から初任者研修の実習生を受け入れ予定(10月下旬の3日間)。
- 甲府市体育協会にグットケアより車椅子2台寄贈(9/15)。

(裏面に続く)

## 5 運営委員からの質問

- |  |   |
|--|---|
| ・ 地域密着の「地域」とは具体的には？                        | 制度的には甲府市を指すが、実際は近隣の住民に対して、施設の現状を知ってもらい、地域に開かれた施設を目指すことを目的としている。 |
| ・ スタンプの取組で目標を達成したら何かあるか？                   | 表彰状をお渡しする予定。  |
| ・ 前回の会議で地域の消防団に施設内を見てもらう予定とのことだったが、どうなったか？ | 分団長との予定が合わず、まだ見てもらっていないが、消防設備点検の際に分団長に相談。業者を紹介してもらい点検を行なった。     |

## 6 運営委員からの評価

(利用者)

職員の気配りがあり、雰囲気が良い。ここへ来ると体操やお話しをして元気になる。

(利用者家族)

災害時、家族が避難所へ迎えに行く場合があると思うが、避難所の場所の確認などの、家族同伴の訓練等も計画してみてもどうか。

職員が利用者の自尊心に考慮して接してくれてありがたい。風呂や身の回りのことにも気を使ってきている。高齢者でもいつまでも綺麗でいたい気持ちはあり、張り合いにもなるので引き続きお願いしたい。

(地域包括支援センター)

消防団と連携をとっているのは良い事。以前「すみよし温泉ランド」があった場所ということもあり、非常災害時、近隣の住民が施設へ避難してくる場合もある。一時的に受け入れ可能か検討してみてもどうか。機能訓練の為の訓練ではなく、目標に向けての訓練になるよう、利用者本人と目標を決めて、引き続き取り組んでほしい。

(知見を有する者)

違った視点から利用者や家族の声を聞けて、私自身勉強になった。地域から期待されるケースがあると思うが、自治会等と相談しながら引き続き頑張ってもらいたい。

(地域住民の代表)

非常災害時、共助が大切。本日19時より公民館で防災講習会があるので都合が良かったら参加を。

## 7 今後の課題

- 利用者の創作活動の展示等
  - ・ デイ内に展示するだけでなく、地域の文化祭に出展することでやりがいを持ってもらう。同時に「すみよし」のことを地域に知ってもらう機会をもつ。  
⇒地域の文化祭などの情報を自治会の回覧板等を通じて教えてもらう。
- 自宅での取り組み
  - ・ ご自宅に帰ってからも少しでも簡単な運動をしていただくよう働きかける。  
⇒ご家族やホームヘルパーに協力してもらい進めていく。
- 非常災害対策
  - ・ 避難場所・避難所からのご家族への引き渡しをスムーズに行うために、ご家族に実際に来てもらい、避難所の場所等を確認していただく機会も持つ。またご家族同伴の避難訓練を検討する。
  - ・ 非常災害時、一時的に地域の要支援者などの受け入れが可能かどうか検討する。  
⇒共助としての一時的な受け入れ先として、備蓄品等の見直しを行う。

次回、第4回運営推進会議は、平成30年3月の予定